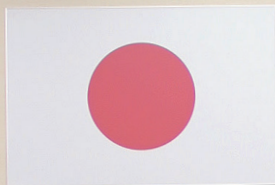


ことだま



誌面のご案内

定例会のあらまし	1
一般質問	2～6
議決結果一覧	7

6月定例会を開催

- ・ 26 件の議案を審議
- ・ 一般質問で議員 18 人が登壇

意見書

6月定例会で可決した意見書は、次のとおりです。

- ◆米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書
- ◆地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書



永年表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として長きにわたり、地方自治の発展と市政振興に貢献された功績により表彰を受けました。

【議員30年在職特別表彰】中林 和江議員

【議員10年在職表彰】

中川 健議員 森本 雄一郎副議長 馬場 才議員

会期 6月16日～7月9日
(24日間)

市長提出議案 …… 24件

報告 …… 3件
条例 …… 6件
予算 …… 4件
その他 …… 9件
人事 …… 2件

議員提出議案 …… 2件

意見書 …… 2件



6月定例会
議案審議

火葬場業務委託料の追加補正

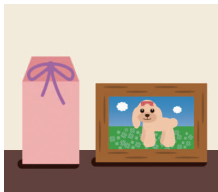
【補正額】 92万4,000円

寝屋川斎場の火葬炉改修に伴い新設した動物専用炉を活用し、令和7年8月からペットの単独火葬を新たに実施するため、必要経費の追加補正を行う。

ペット単独火葬の料金

1体 1万5,000円

※寝屋川市民のみの受入れ



水道料金（基本料金）免除負担金

【補正額】 2億4,903万2,000円

物価高騰による市民及び市内事業者の経済的な負担を軽減するため、水道料金のうち基本料金の全額免除を現在の4か月に加えて、令和7年7月から令和7年8月までの2か月延長する。



対象

★奇数月検針の方……令和7年7月検針分

★偶数月検針の方……令和7年8月検針分

※国などの公的機関が水道使用者となっている施設は対象外

免除内容

用途	2か月延長分の免除金額（税込）
一般用	2,120円
特定施設用	16,500円
公衆浴場用	57,702円
臨時用	1,038円
家事共用	2,490円

※水道料金のうち従量料金は免除の対象外

当該費用に関連する議案については令和7年7月からスムーズに全額免除の延長ができるよう、本会議初日（令和7年6月16日）の委員会付託後、同日に委員会審査を経て議決しました。

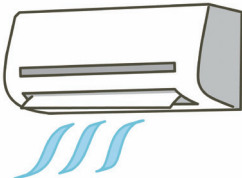
コミュニティセンター体育館 空調設備設置事業

【補正額】 4億709万5,000円

災害時に市民が安心して避難できるよう、避難所となる各コミュニティセンターの体育館にエアコンを設置する。

空調機の仕様

常時LPガスを使用（小学校体育館と同様の仕様）



主な議案の概要

令和7年6月定例会では、議決を要するすべての市長提出議案を可決等としました。

大阪維新の会議員団

政治家としての自覚と覚悟

真に市民のための政治を

奥川 大輔
瀬戸 健太
中川 健
福田 篤志
古田 尚央

寝屋川市サービスゲートについて

問 有人窓口を維持するのであれば人件費に見合うサービスを提供すべき。そのために、「プラスとなる一言」の取組が有効と考えるが見解は。

答 来庁者が何を求めているかを察知し、その一歩先のサービスを提供することで、どこにでもあるサービスのワンランク上を目指している。

問 待たせない窓口とはいえ5月1月は繁忙期のため、待ち時間が発生するものと考えますが、どの手続でどの程度の待ち時間が把握しているか。

答 住民異動手続で、1時間以上お待たせする事案が発生したが、現時点では、一時的に集中して多くの市民が来庁する場合を除き、待ち時間の解消が図れている。

学校給食について

問 泉大津市の学校給食の取組を参考にし、給食費の無償化に留まらず子どもの事を最優先に考えた給食に方向転換すべきと考えるが見解は。

答 市では従来から、伝統食や行事食を取り入れるなど、内容の充実を図るとともに、適塩・適温を心掛けた給食を提供しており、引き続き、

児童生徒を最優先に考え、給食の更なる充実を検討していく。



寝屋川市の給食

問 安全性・栄養価の面から考えてパンと牛乳の在り方について必要性も含め見解を伺う。

答 パンについては、マーガリンは使用せず、大阪府学校給食会が定めた品質規格に基づく原材料を使用したパンを提供している。様々な食材に触れる機会を創出する観点からも、引き続き提供していく。牛乳については、栄養バランスの取れた給食の提供を前提とし、金額面、施設能力、調理能力を考慮し、代替食の在り方について引き続き検討を進め

ていく。

留守家庭児童会について

問 保護者が負担する保育料・延長保育料、土曜日利用料、おやつ代、スポーツ安全保険料はそれぞれ誰がどの様に徴収するのか。

答 保育料・延長保育料、土曜日利用料は市が口座引落か納付書払いで徴収している。おやつ代、スポーツ安全保険料は保護者会が運用を決定し児童会毎に取扱が異なる。

問 徴収したおやつ代金、スポーツ安全保険料は準公金にあたるのか。

答 スポーツ安全保険料は本来、保護者が自主的に費用を集めて加入するものと認識しており、その趣旨から、準公金にはあたらないと考えている。おやつ代が準公金にあたるかは見解が分かれている。

問 小学校区別で最も多い学校と最も少ない学校の利用児童数は。

答 最も利用児童数が多い学校は第五小学校で284名、また、最も少ない学校は桜小学校で41名。

問 支援員配置基準、待機児童数は。

答 1クラブにつき2名の配置をベースとし、さらに人数に応じた加配を行っている。待機児童はいない。

問 人員確保のための工夫を伺う。

答 市広報、求人情報誌などの媒体を通じて積極的な募集を行っている。

大阪関西万博について

問 本市が出席する大阪秋ウィークの内容を伺う。

答 舞台上でのゲストによる豆まきを始め、参加者による和装での豆まき体験等を2部制で実施予定。

学校プールについて

問 教員の監視体制について、配置基準と実際の配置人数は。

答 少なくとも2名以上の教員が、水泳授業中の役割分担を明確にした指導・監視を行っている。

問 望が丘小学校・中学校において学校プールを開放する事は可能か。

答 多くの課題があり、保護者等からの要望もなく、現在のところ、一般開放は考えていない。

教員に対するハラスメント等について

問 教員が校内でハラスメントやモンスターペアレントに遭遇した場合、教員は何処にどの様に相談するのか。

答 各学校内に設置の相談窓口、市・府の教育委員会の相談窓口、日本ハラスメント協会の専門相談など。

問 属人的な対応でなく教員を守る仕組みはどの様に構築されているか。

答 全教職員を対象にアンケートを実施し、未然防止を図る体制を構築し、不安や悩みの解消に努めている。

問 デジタル採点システムのこれまでの経緯、報告書を見ても教育委員会と学校との関係が非常に歪んだものであると感じている。ハラスメント等の問題を教育委員会が調査する場合、客観的に公正に学校に対して接する事は可能か、その根拠を伺う。

答 ハラスメントの防止及び対応に関する指針に基づき対応しており、今後、より第三者的な調査ができるよう検討を進めている。

問 過去3年間の休職者数・退職者数とその主な理由を伺う。

答 休職者は令和4年度7名、5年度10名、6年度15名。理由は児童・生徒との関係性による不安、病気による療養など。退職者は令和4年度23名、5年度26名、6年度21名で、理由は他府県採用や育児、転職など。

公明党市会議員団

実現力で市民の生活を守る！

村上 順一
岡 由美
高見 雄介
辻谷 恵一
坂口安喜子
武田由利子

「小1の壁」解消に向けた支援体制の強化について

問 市内小学校の通学時に校門前で開門を待つ児童がいるなどの状況が生じているか見解を問う。

答 市教育委員会としても一部の学校で把握しており、学校の状況に応じ、教職員の「勤務時間の割振り変更」制度を活用し、出勤時間や退勤時間を調整し対応したり、安全上の観点から、児童が開門前に門の外で待つことがないよう門の中に入れるなど、各学校が柔軟に対応している。

ねやBUS事業について

問 京阪バスの一部路線廃止・減便で生じた課題に対し、ねやBUSの路線変更など、更なる活用を含めた持続可能な公共交通の再構築について見解を問う。

答 今後の京阪バスによる廃止・減

便や利用状況を注視し、より持続可能な事業となるよう、引き続き、検証・検討していく。

終活支援について

問 本市ではエンディングノートの作成やダウンロードがなぜされていないか見解を問う。

答 終活に向けた取組の一つとして一定のニーズがあると認識しており、作成・配布の手法について検討を進めている。

出産への支援について

問 卵子凍結の助成制度の新設について見解を問う。

答 将来の妊娠・出産を希望している方から一定のニーズがあるものと認識しているが、一般的に補助金の交付は特別な事情により、それが無ければ市民が通常の生活ができないものに対して、もしくは市の政策を

誘導するために行うものと考えており、現時点で実施は考えていない。

RSウイルスワクチンについて

問 基礎疾患を持った「後期高齢者」に限定してでも公費助成をするべきと考えるが見解を問う。

答 国の審議会において、ワクチンの定期接種化について検討が開始されているところであり、国の動向を注視していく。

闇バイトについて

問 闇バイトから本市の子どもたちを守るため、犯罪であるという正しい認識や労働面での知識を与える出張授業の取組について見解を問う。

答 中学校生徒指導主事と教育委員会事務局指導主事、寝屋川警察等で構成する「生徒指導担当連絡会」において、改めて警察庁の教材を共有し、各学期末の子どもたちへの周知事項として徹底していく。また、「非行防止教室」において、子どもたちに闇バイトの危険性や実態について、より深く警察から指導いただく等、内容の充実を図っていく。

小中学校の英語教育について

問 英語村の課題や今後の取組について見解を問う。

答 子どもたちがより英語に親しみや興味を持ち、英語力につなげていくことが課題と認識している。引き続き、タブレットを効果的に活用し、

コミュニケーションを重視した、より授業とつながりのある内容を実施するとともに、探究学習やSDGsと関連付けた英語活動など、国際社会に貢献できる子どもたちの育成に取り組んでいく。



小学生が授業を受けている風景

介護用品の補助について

問 課税世帯においても一定の条件を設け、家族介護用品の支給を求めるが見解を問う。

答 非課税世帯が対象の当該事業は国から令和9年度に向けて、介護保険事業としての位置付けを見直す旨が示されていることから、事業見直しに当たり、国・府や他市の動向を注視していく。

幼老複合施設について

問 幼老複合施設の特徴を取り入れた「子どもと高齢者のふれあいの場」づくりを積極的に始めることを提案

するが見解を問う。

答 市内の民間事業者には先進的に取り組む事例もあるため、市内事業者との話し合いの場で、先進的な取組などの情報を積極的に提供していきたいと考えている。

自由民主党市会議員団

市民の声を聞き、市民に寄り添い、正しい行政運営の推進を

金子 英生
北川 千尋
北川 健治
森本雄一郎

対馬江大利線について

問 ベンチ等設置後、通行状況の把握や利用者アンケートは実施済みか。

答 通行量は増加し、自転車が歩道を走行する状況が見受けられ、歩行者との接触の可能性があることから、警察と交通指導にかかる協議を進めている。利用者アンケートについては現段階において考えていない。

問 道路舗装後、一部道路で波打つ事があったが原因を問う。

答 路床部分に予測できない地下水が集まり、路床が緩んだ影響によるもの。土の入替えに加え、セメントによる改良を行っている。

問 友呂岐水路に架かる橋に、市民に慣れ親しみ易い名称を付けるのはどうか。

答 路線名や水路名などに関連した名称の付け方も含め検討していく。街路樹メタセコイアの樹勢の抑

グリーンケアについて

問 グリーンとは、大切な人を亡くしたなどの喪失体験によって引き起こされる、心の変化、身体の変化など様々な反応である。グリーンケアは心身と

制策について施工方法を問う。
答 防根シートや根を誘導する材料を使用して施工している。



令和7年3月に完成した対馬江大利線

問 今後、萱島諱良線や公園等の大型工事が控える中で、どのように技術職を教育していくか伺う。

答 教育プログラムの構築やチェック機能の強化など、学びの醸成とシステム化の両方から取り組む。

もに不安定な状態となった人に寄り添い、援助することを言うが、深く傷ついた方が、安心して行政手続や相談ができる窓口対応が求められることから、職員がグリーンやグリーンケアについて学ぶ機会を設けることへの見解を問う。

市役所本庁舎1階の利活用について

問 自習スペースの運用を問う。

答 本市に住み、働き、又は学ぶ方々が休日を含む毎日、午前9時から午後8時まで無料で使用可能。

問 5月の利用開始からの利用者数や満足度を問う。

答 約1か月で延べ500人を超える利用状況であり、「静かで、安心して快適に自習できた」といった喜びのお声をいただいている。

問 利用ルールと安全管理体制について問う。

答 水分補給を除く飲食・飲酒・喫煙等は禁止。定期的に見回りを行うなど安全管理の徹底に配慮している。

脳ドック助成制度について

問 脳ドック助成制度の利用状況についての認識を問う。

答 執行率の減少は見られるものの、被保険者数の減少率を上回る利用をいただいているものと考えている。

問 制度は受診前及び受診後に脳腫瘍が見つかり治療を受ければ利用ができないが定期的な利用者はいるか。
答 令和5と6年度の実績から44%

答 相手の状況を察知し、想像力を働かせながら送付文書の作成や窓口対応を行うことは市民サービスの基本であり、市民サービス改革及びサービス指導に関する取組の中で全庁的に確認を進めていきたい。

の方が2年連続で利用されている。

問 特に40・50歳代の方々に受診の重要性を認識してもらい、脳ドックの受診率向上、受診勧奨による命を守る取組が肝要と考えるが見解は。

答 被保険者の脳疾病の予防、早期発見・早期治療を促進し、健康の維持増進を図れるよう引き続き必要な周知に努める。

問 脳ドック受診費用助成は、本市では3万円と金額が大きく、受診勧奨を進める上で更なる周知・啓発が必要だが見解を問う。

答 国保ガイドや市広報誌等へ掲載している。他自治体の状況等について、引き続き、調査・研究していく。

全員協議会を開催

市政に関する案件についての説明を受けました。

開催日 令和7年6月4日(水)

案件名 生涯学習(多機能)施設整備事業工事設計の考え方について



詳細は、QRコードから御参照ください。

シン・ネヤガワ議員団

役所から飛び出し、

地域の声を確認。そして提言！

馬場 才
西尾 勝成
板東 敬治
久野須賀子

サービスゲート周辺の
交通対策強化

問 サービスゲート前道路の駐車、庁舎前へのバイク駐車対策への警備員の必要性についての見解は。

答 常時、必要な対策を講じているところであり、施設の利用や周辺の状況等を注視する中で、今後、必要性等について検討していく。

スクールパークなどのあり方

問 スクールパークが始まって約3か月が経ったが、4月から6月の平均実施日数の最大と最小は。

答 5月の実績では、最大は18日、最小は10日。

問 スクールパーク、留守家庭児童会、放課後子供教室の運営を一体的に行うことについての見解は。

答 今後の放課後の在り方については、引き続き検討していく。

隠れ待機児童の状況

問 利用可能な保育所等があるのに、保護者の私的な理由で待機している場合は、待機児童に含まれないが、木屋元町から河北西町への通園も利用可能な施設に含まれるのか。

答 利用可能な保育所に該当する

が、極めてまれな事例である。



保育の様子

問 本市の隠れ待機児童数とその公開は。

答 令和7年4月1日時点では382人。府ホームページに掲載されている。

高専跡地の住宅方針に待った！

問 跡地活用についての市民ニーズを、Webで把握してはどうか。

答 今後、具体的な土地利用計画について大阪府と協議していく。

問 新住民の誘致で3・7億円の増収とのことだが、逆に、市民サービスコストは8億円増とならないか。

答 様々な要因を考慮せず単に歳出総額のみの推計は困難と考える。

問 令和5年の本市の空き家総数は、1万5450件。その感想は。

答 未だ多くの空き家があると認識。

問 本市内の学校跡地で「みんなの廃校プロジェクト」を検討している。

答 総合的な検討の中で判断する。

新たな防災方針への考え方

問 国は南海トラフ巨大地震の被害想定の見直しに合わせ、「避難所への避難者数の低減への対策」を公表したが、本市の考えは。

答 大規模な地震の時は、避難所に押し寄せた多くの市民に、まずは屋内に入り、雨風をしのぐなど命を守るための行動を優先する。その後、自宅等で居住可能な方には物資供給を受ける拠点として、自宅等に戻れない方には、そのまま避難生活を送る拠点として機能することになる。

問 要救助者の発見に役立つ笛（ホイッスル）を市民に配布しては。

答 自助・共助の取組として、家庭や地域で準備していただきたい。

役所職員の熱中症対策を強化

問 職場の熱中症対策強化で義務化される本市の対象課及び作業は。

答 日常的な屋外作業では、ごみ収集や学校用務、一時的なものを含めると、ほとんどの所属が対象となる。

ねやがわ議会だよりが中核市議会議長会
第20回議会報コンクールで
優秀賞を受賞！

ねやがわ議会だより第257号(令和6年8月号)が、令和7年4月15日に行われた、中核市議会議長会第20回議会報コンクールで優秀賞を受賞しました。今後も、市民の皆様に興味を持っていただける議会だよりの作成に取り組んでまいります。



授賞式の様子
(中川前議長Ⅱ写真右)



優秀賞受賞号



賞状

日本共産党市会議員団
戦後・被爆80年
平和を守る年に

中林 和江
西田 昌美
松尾 信次

「聞こえ8030運動」の
推奨を

問 加齢性難聴と認知症の関係、早期検査とケアの重要性等の啓発、補聴器購入補助制度の実施を求める。
答 積極的に啓発を実施する。補聴器購入補助制度は国・府に制度化の要望を行っており、引き続き、必要性や有効性も含め調査研究する。



「聞こえ 8030 運動」の推奨を

平和の尊さを伝える取組を

問 今年「戦後・被爆80年の節目の年」、「戦争の悲惨さ」、「平和の尊さ」を次世代にしっかり語り継ぐ取組を市として行うことを求める。

答 「人として当たり前に生きる権利を考えるつどい」で、平和を基調とした取組を検討している。

障がい者入所待機者へ
相談支援を

問 施設入所待機者への定期的な対応は。市が定期的に協議する場の設定を求める。
答 随時対応を協議している。必要性も踏まえ他市の動向等を注視する。

地域包括支援センターの
欠員解消を

問 更なる処遇改善の必要性和7か所での欠員解消の取組について伺う。
答 国の動向や府内賃金を注視し、総合的に判断する。委託事業者に積極的な人員確保を求める。

いこども目線での不登校支援を

問 学校が不登校の子どもの同じ目線で話をする関係性を広げ、子どもの思いを丸ごと受け止め、休息と回復を温かく見守り、安心を増やせる場であるべきと考えるが市の見解は。

答 担任、養護教諭、スクールカウンセラー等のチームで対応しており、子どもたちに安心感を与えられる場となる事が大切と考えている。

市内各所にベンチの設置を

問 市民や様々な団体などの力を借りて、ベンチの設置を求める。
答 現在、他市からも参考にされるようなベンチの設えやあり方について検討を進めている。

令和7年度市議会の構成

5月臨時会で新たな議会構成が決まりました。

議長 岡 由美
副議長 森本雄一郎
監査委員 奥 大輔

総務都市創造常任委員会（8人）

◎辻谷 恵一 ○瀬戸 健太
中川 健 村上 順一
北川 健治 金子 英生
板東 敬治 松尾 信次

健康福祉常任委員会（8人）

◎久野須賀子 ○武田由利子
川口 肇人 古田 尚央
高見 雄介 森本雄一郎
西尾 勝成 中林 和江

文教生活常任委員会（7人）

◎福田 篤志 ○北川 千尋
奥 大輔 岡 由美
坂口 安喜子 馬場 才
西田 昌美

予算決算常任委員会（23人・全議員）

◎森本雄一郎 ○奥 大輔
◎…委員長 ○…副委員長

議
会
日
誌

【4月】	22日	幹事長会
23日	市サービスゲート議員内覧会	
29日	市サービスゲートオープニングセレモニー	
【5月】	8日	議会運営委員会
14日	本会議（5月臨時会）／予算決算常任委員会健康福祉分科会／予算決算常任委員会総務都市創造分科会／予算決算常任委員会全体会／幹事長会	
15日	幹事長会	
16日	議会運営委員会／本会議（5月臨時会）	
【6月】	4日	全員協議会／幹事長会
6日	議会広報委員会	
10日	議会運営委員会	
16日	本会議（第1日）／予算決算常任委員会総務都市創造分科会／予算決算常任委員会全体会	
17日	健康福祉常任委員会（※）	
18日	文教生活常任委員会（※）	
19日	総務都市創造常任委員会（※）	
	（※各常任委員会終了後に予算決算常任委員会分科会を開催）	
24日	議会運営委員会	
26日	予算決算常任委員会全体会	
30日	本会議（第2日）	
【7月】	1日	本会議（第3日）
2日	本会議（第4日）	
4日	健康福祉常任委員会協議会	
7日	文教生活常任委員会協議会	
8日	総務都市創造常任委員会協議会	
9日	議会運営委員会／本会議（第5日）	
10日	議会運営委員会	
14日	本会議（7月臨時会）／文教生活常任委員会／予算決算常任委員会文教生活分科会／予算決算常任委員会全体会／議会広報委員会	



6月定例会 議決結果一覧



議案番号	件 名	議決結果
報告第4～6号	令和6年度寝屋川市一般会計繰越明許費の報告（他2件）	報告終結
議案第37号	寝屋川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可 決
議案第38号	寝屋川市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可 決
議案第39号	寝屋川市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可 決
議案第40号	寝屋川市税条例の一部改正	可 決
議案第41号	寝屋川市立斎場条例の一部改正	可 決
議案第42号	寝屋川市における東部大阪都市計画梅が丘二丁目地区地区計画の区域内における建築物等に関する条例等の一部改正	可 決
議案第43号	令和7年度寝屋川市一般会計補正予算（第2号）	可 決
議案第44号	令和7年度寝屋川市一般会計補正予算（第3号）	可 決
議案第45号	令和7年度寝屋川市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可 決
議案第46号	令和7年度寝屋川市水道事業会計補正予算（第1号）	可 決
議案第47号	工事請負契約の締結	可 決
議案第48～55号	人権擁護委員候補者の推薦（菊地 伊三男）（他7件）	適 任
議案第56号	教育委員会委員の任命	同 意
議案第57号	監査委員の選任	同 意
議員提案第7～8号	米国の関税措置に対応した中小企業等支援策の拡充を求める意見書（他1件）	可 決

予定

9月定例会の案内

本会議・委員会は午前10時を予定しています。議事の都合で変更される場合があります。

※8月25日に議会運営委員会が開催されます。

市議会を 傍聴しませんか？

市議会で開かれる本会議・委員会の様子はどなたでも傍聴することができます。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



日	月	火	水	木	金	土
8/31	9/1	2	3	4	5	6
		本会議・ 予算決算	健福	文教	総務	
7	8	9	10	11	12	13
	予算決算・ 議運					
14	15	16	17	18	19	20
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		
21	22	23	24	25	26	27
	健福協議会		文教協議会	総務協議会	議運・本会議	

健福：健康福祉常任委員会・分科会 文教：文教生活常任委員会・分科会
総務：総務都市創造常任委員会・分科会 予算決算：予算決算常任委員会全体会
議運：議会運営委員会 協議会：常任委員会協議会